

## 現状および町会の維持に関わる課題

### 1 町会の現状

#### (1) 町会の概要

2022. 4. 1 現在

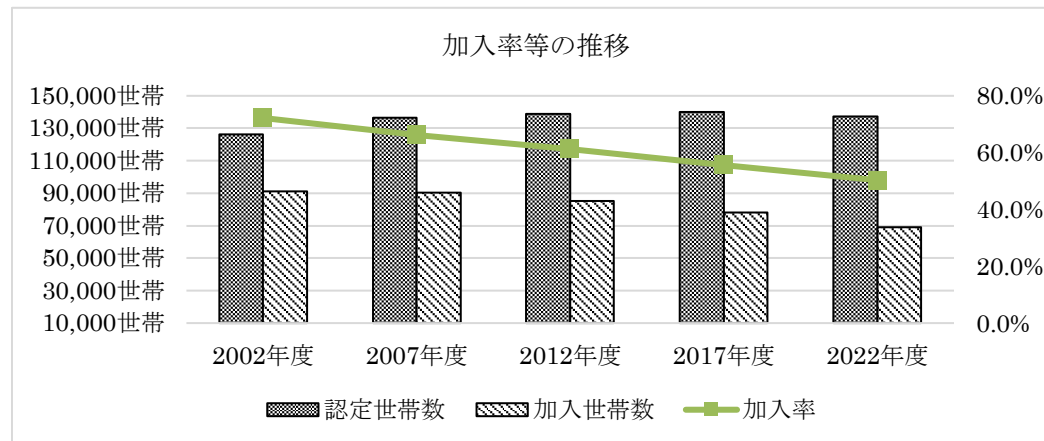
	市全体	西部地区	中央地区	東央地区	北部地区	東部地区
町会数	178	28	35	56	30	29
(うち会館所有)	(105)	(24)	(27)	(26)	(25)	(3)
人口(人)	246,256	24,453	48,915	50,573	112,099	10,216
老年人口(人)	90,100	10,839	17,215	20,433	36,610	5,003
老年人口割合(%)	36.6	44.3	35.2	40.4	32.7	49.0
総世帯数(世帯)	140,115	15,113	29,731	29,200	60,569	5,502
認定世帯数(世帯)	137,346	14,746	29,435	28,123	59,630	5,412
加入世帯数(世帯)	69,055	8,974	14,349	14,764	26,880	4,088
加入率(%)	50.3	60.9	48.7	52.5	45.1	75.5

※認定世帯数とは、町会未組織地域や福祉施設居住世帯の一部などを除いた世帯数



#### (2) 加入率等の推移

	2002年度	2007年度	2012年度	2017年度	2022年度
認定世帯数(世帯)	126,054	136,594	139,053	140,181	137,346
加入世帯数(世帯)	91,031	90,323	85,221	77,982	69,055
加入率(%)	72.2	66.1	61.3	55.6	50.3



## (3) 主な役員等の配置状況

(単位：町会・人)

	定数配置 町会 A	定数 B	実際の人数 C	定数不足 人数 D	定数不足 町会数 E
会長	178	178	175	3	3
副会長	178	395	342	53	46
監事(監査)	178	342	327	15	16
部長	164	1,309	999	310	108
会計	148	163	138	25	24
班長	145	6,843	6,353	490	62

※令和3年度実施「町会運営等に関する調査」

## (4) 会長の年齢

(単位：歳)

	2008年度	2013年度	2018年度	2022年度
最高齢	87	92	97	90
最年少	40	48	51	38
平均年齢	70.1	71.9	73.9	74.7

## (5) 町会の役割として重要と考える活動

(単位：町会)

区 分	町会数	全町会に 占める割合	区 分	町会数	全町会に 占める割合
街路灯の維持管理	126	70.8%	慶弔(出産祝, 入学祝, 香典など)	70	39.3%
防犯活動(見守り活動含む)	119	66.9%	広報紙の作成など情報発信	62	34.8%
清掃・緑化など環境美化活動	117	65.7%	町会館の運営・財産管理	60	33.7%
高齢者向け活動(敬老会など)	107	60.1%	住民生活に関する行政への要望	57	32.0%
住民同士の親睦を図る活動(お祭りなど)	99	55.6%	健康増進活動	40	22.5%
防災活動	83	46.6%	子ども向け活動(クリスマス会など)	39	21.9%
集団資源回収	81	45.5%	募金活動	21	11.8%
交通安全活動	79	44.4%	その他	0	0.0%

※令和3年度実施「町会運営等に関する調査」

(6) 町会活動への支援

① 財政支援

項目	概要	R3年度決算		R4年度予算	
		団体数	金額(千円)	団体数	金額(千円)
町会交付金	町会の自主的な活動を促進するため交付 世帯割 1世帯 370円 組織割 1町会 18,200円～108,900円 ※R4 拡充 ⇒ 世帯割 500円, 組織割 一律 12万円	178	68,368	178	90,264
町会会館建設費補助金	町会活動の拠点となる町会館の整備費の一部を補助 補助率 2分の1以内 補助限度額 10,000千円	11	19,012	11	14,543
町会備品設備整備費補助金	町会活動に必要な備品設備の整備費の一部を補助 補助率 2分の1以内 補助限度額 500千円	20	4,002	—	4,373
街路灯設置費補助金	夜間の交通安全, 犯罪の防止および美観の保持を図るため, 街路灯の設置費および電灯料の一部を補助(商店街組合など町会以外の街路灯を維持している団体にも補助) 補助率 10分の8.5以内 補助限度額 灯具のみ 34,000円, 灯柱含む 76,000円など ※R4 拡充 ⇒ 移設, 撤去に係るメニュー追加	77	33,173	—	25,665
街路灯電灯料補助金	補助率 10分の8以内	219	60,105	—	64,346
地域安全安心促進交付金	青色回転灯装備車による自主防犯パトロールを促進するため交付 青色回転灯装備車 1台につき 5,000円	35	285	—	300
町会長等研修事業負担金	町会連合会と市が共催で研修を開催するとともに, 市外研修等における町会負担の軽減を図るため, 旅費交通費等の一部を市が負担	—	60	—	763
町会連合会補助金	各住民組織間の相互連絡調整と, 共通する諸問題の研究討議をする推進母体として, 各事業を推進しており, その運営費の一部を補助	—	10,000	—	10,000

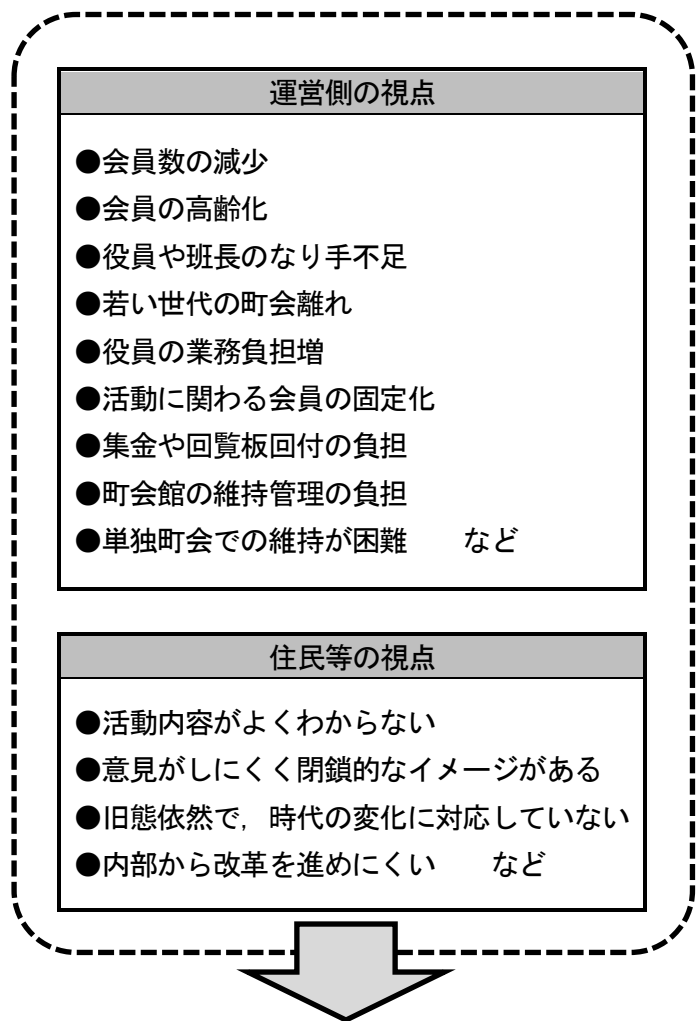
② その他の主な支援

項目	主な内容
活性化	・町会活性化モデル事業(町会自身が, 自らの課題解決に必要な取り組みを主体的に考え, 町会自体が望む活性化を実現するためのモデル事業を実施)
加入促進・意識啓発	・市ホームページの充実(住所別町会エリアの掲載, 加入取次専用フォームの新設), 町会加入取次臨時窓口の開設 ・町会活動PR事業(PR動画の制作, インスタグラムによる活動PR, 町会活動PR紙の発行) ・町会加入促進ポスター作品募集 ・市職員やOB向け啓発(メールマガジン, 新人職員研修, 退職者説明会, 退職者の会報誌掲載など)
運営支援	・町会運営標準マニュアルの作成・配布・研修

(7) 町会活性化の取組

町会活性化に向けた基本的な方向性 (令和3年3月策定)		令和3年度の主な取組例	
町会活性化への方向性		取組事項	
自発的な参加の意識づくり	住民一人ひとりが、町会の必要性を認識し、自ら町会に関わる意識を醸成する。	① 町会への理解促進	◇若い世代や子育て世代をターゲットにした SNS による情報発信など(市 PR 事業) 町会活動紹介動画の制作・配信, インスタグラムによる情報発信, 町会活動 PR 紙の作成・配布
		② 主体的な参加を促すしかけづくり	◇大学生による町会館を活用した事業(町会) 弁天町に居住する学生が、小学生を対象とした「遊びや学びの場」を町会館で定期的に実施
町会活動への参加機会の拡充	住民が、町会への関心を高め、つながりを深めることができるよう、町会活動への参加機会を拡充する。	① 町会活動への参加のきっかけづくり	◇会館を活用した移動販売など、幅広い世代が参加しやすい事業の実施(町会) 青柳町会館を会場に月1回移動販売の実施, および実施日に併せた行事開催(キッズバザール)
		② 地域包括支援センター(福祉拠点)との連携促進	◇地域包括支援センター, コミュニティ・スクール, 町会による連携事業の実施(町会) 高齢者の外出機会を増やすため, 地域包括支援センターゆのかわ・深堀中学校・函大有斗高ボランティア部・深堀町会が協力し, お散歩マップを作成
		③ コミュニティ・スクールとの連携促進	
		④ 企業や団体等との連携	◇町会への関心を高めるための事業の実施(市モデル事業) 万代町会で地域内企業や団体と連携し防災訓練を実施, および地域内企業との防災協定締結
負担感の軽減	役員や班長などの負担を軽減するとともに、人材の発掘、企業やNPO法人などの参画を図ることで、担い手づくりを進める。	① 加入促進方法の工夫	◇庁舎内での加入取次臨時窓口の開設(町会連合会・市) 4月初週の転入・転居者の手続きが多い時期に、市役所本庁舎吐で町会加入の呼びかけ活動の周知
		② 町会運営に参加してもらうためのしかけづくり	◇人材リストの作成(市モデル事業) 大手町会で、今後の活動の担い手となり得る人物を、分野ごとにリスト化
		③ 類似活動団体等との連携	◇エリア町会や学校が連携した防犯パトロール(西部地区の22町会) 西部地区の22町会および学校(青柳中・弥生小・青柳小・あさひ小)が連携し、青柳ネット防犯パトロール隊の発足
		④ 活動内容や運営方法の見直し	◇業務のたな卸し(市モデル事業) 大手町会で、業務のたな卸しに取り組むため、年間行事の見える化を実施
透明性・信頼性の確保	組織運営や会計処理の透明性を高め、信頼性を確保することで、安定した町会運営に取り組む。	① 町会運営の見える化	◇町会運営や会計に関する研修会の実施(町会連合会・市) 市内5地区で、町会運営標準マニュアルを活用した研修会を開催(参加総数 275名)
		② ICT化の促進	◇ホームページやSNSを活用した運営情報等の公開や活動情報の発信 ホームページ(5町会), フェイスブック・インスタグラム等(10町会)
		③ 運営事務の標準化	◇町会運営標準マニュアルの作成(町会連合会・市) 運営や会計事務の基本的な方法や注意点などをまとめたマニュアルを作成・配布

## 2 町会の維持に関わる課題



**町会活性化の方向性に基づく  
現在の取組を継続しつつ、  
持続可能な町会の実現に向け、  
一歩踏み込んだ取組の検討が必要**

### 【参考】平成 29 年度実施 町会アンケート

#### ○運営していく上での課題

項目	件数	項目	件数
役員のなり手不足	125	運営資金が足りない	9
会員の高齢化	113	街路灯の維持・管理	7
会員の減少	76	見守り等福祉活動	7
特定の会員しか運営・行事に関わらない	46	会館が無い	3
会費や募金の集金	19	地域に住んでいる外国人への対応	1
行政からの依頼事項	18	その他	4
草刈り等環境整備	11	特に課題はない	0

※回答町会数 143 (3つまで回答可能)

#### ○会館運営上での課題

項目	件数
会館が老朽化している	42
会館を利用する人が減っている	42
会館の維持・管理が困難である	30
その他	8
会館を運営する上での課題はない	17

※回答町会数 84 (複数回答可能)

#### ○今後の町会のあり方

項目	件数
今後も現状を維持	111
近隣の町会と合併を検討	20
解散を検討	1
その他	4
特にない	4

※回答町会数 140

### 【参考】令和 3 年度実施 町会運営等に関する調査

町会費などの集金は負担になっているか	件数
負担になっている	97
負担になっていない	81

※回答町会数 178